

# ヒヤリ・KYアセスメント運動で 今日から危険ゼロへ

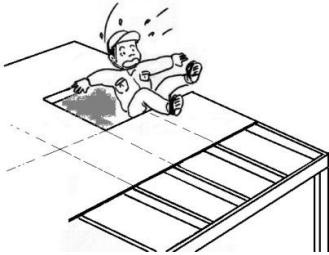


「ヒヤリ・KYアセスメント運動」とは、  
ヒヤリとしたときや、ハットしたとき、毎日のKYなどで、  
万に一つでも起こるかもしれない危険要因（危険の芽）を、  
そのままにして災害に結びつかせないために、  
危険の芽に気がついた

働く人、管理者、安全衛生のスタッフ、そして事業主が  
その場で危険の見積もりをして、  
即座に災害防止活動の具体化を図る  
災害防止運動のことです。

（注 「ヒヤリ・KYアセスメント」は宇都宮労働基準監督署の造語です）

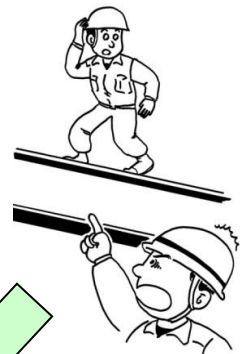
災害事例  
ヒヤリハット



KY活動  
工程打ち合わせ



現場巡視  
パトロール



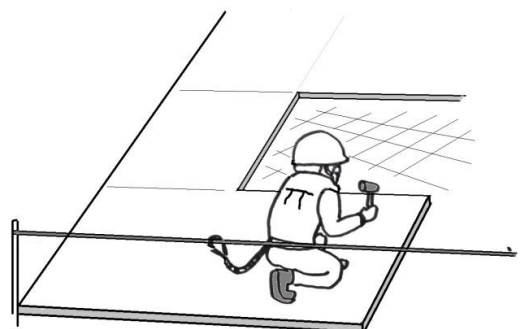
ヒヤリ・KYアセスメントシート  
その場では完全な対策ができなくても、どのランクのリスクが明らかに残す。

安全衛生委員会等



リスクの評価  
対策の検討

対策の実行



# 全員参加の「ヒヤリ・KYアセスメント運動」に向けて

## ステップ1 なにが危険の芽か考えてみよう！

職場における拾い上げたい危険の芽は何があるでしょう？  
単に災害の発生要因ということだけでなく、職場の状況に見合った危険の芽を定義しましょう。

危険の芽については災害防止という観点だけでなく、事業活動、あるいは個人の活動を阻害する要因と考えれば広くとらえることができます。  
例えば商業、飲食店などは顧客に対するサービスの低下、あるいはコンプライアンスなど、事業者の目ではとらえきれない危険の芽を、みんなの目で拾い上げることも有益です。

### 【危険の芽の例】

働く人の災害発生のヒヤリハット・KY  
顧客のクレーム・サービス低下、コンプライアンス、個人情報の管理、物損・経費節減、パワハラ・セクハラ・・・

重大性については、場合によっては作業を中断する決断も必要とします。決定に当たっては必ずトップが参画しましょう。可能性は、実際に発生したものは、レベル3を基準として、あいまいなものについてはトップが重大性を考慮して決定しましょう。

## ステップ2 重大性と可能性の見積もりをしよう！

ステップ1で定義した危険の芽にダメージを考慮して、重大性のランクを見積もりましょう。  
可能性に関しては、難しく考えずにわかりやすく決めましょう。

### 【重大性の例】

レベル3

休業を伴う労働災害、顧客のクレーム、コンプライアンス、個人情報漏えい

レベル2

休業を伴わない労働災害、物損

レベル1

赤チン災害、作業所内の連絡体制、経費節減

### 【可能性の例】

レベル3

頻繁に起きる(実際に起きたもの)

レベル2

起こりにくい(未然に防げたもの)

レベル1

可能性だけ

## ステップ3 発生時の対応を考えてみよう！

重大な災害が発生した時など、ただちに対応を必要とするものがあります。重大性と可能性のレベルでかけ算をして、対応の緊急性を決めましょう。

### 評価総合点と対処のレベル

レベル9

作業を中止し、直ちに対策を協議して実施する。

レベル6

管理者間で速やかに対策を講じる。

レベル4～3

定例会議(安全衛生委員会等)の場で計画的に対策を講じる。

レベル2

一定時期において対策の検討する。

レベル1

必要に応じて対策を検討する。

特定の作業、危険の芽の定義などで事例がたくさん集まるようなら次のステップへ！  
リスク評価入りの作業標準書、マニュアルを作成して漏れのない管理をしましょう！



災害やヒヤリハットが発生した日、KYでの提案、現場巡視などで発見された際に作成しましょう。

## ヒヤリ・KYアセスメント 参考様式（記載例）

登録年月日 平成28年4月1日（月）

所属（課・係・班）名 製造課 ○○班 役職氏名 第一係長 ○▽一郎

関係する作業内容

第一製造ラインの部品組立て作業場の部品供給作業

重大性、可能性はステップ2を参考に、総合点はステップ3を参考に決めます。採点はなるべくトップが決定するのが望ましいでしょう。

ヒヤリハット・KYの内容

ラインで使用する○○部品を、保管棚から運ぶ際に、階段を踏み外した。

重大性	可能性	総合点
2	3	6

発見された事例は安全衛生委員会等の場に集約します。

対策会議（安全衛生委員会） 実施日 平成28年4月14日（月）

参加者（職氏名） 工場長 □○太郎 産業医 △□花子 製造課長 ◎○次郎 第一係長 ○▽一郎

ヒヤリハット・KYの内容の対策

部品を運ぶ際には両手で持たず、専用の籠に入れ、片手で手すりを持つ。階段の照明を確保する。

重大性	可能性	総合点
2	2	4

見直し時期 平成28年5月14日（月）

重大性

- レベル3 怪我を伴う労働災害、顧客のクレーム、コンプライアンス
- レベル2 怪我を伴わない労働災害、物損
- レベル1 火災・盗難災害、作業所内の連絡トラブル、経費節減

可能性

- レベル3 頻繁に起きる（実際に起きたもの）
- レベル2 起こりにくい（未然に防げたもの）
- レベル1 可能性だけ（対策済みのもの）

検討して対策後の評価を入れます。通常は重大性は変わりません。

残存するリスク（総合点1を除く）がある場合は、次回の見直し時期（安全衛生委員会等開催日）を入れましょう。

重大性・可能性のレベルの例示を入れましょう。決め方はステップ2を参照して下さい。

災害やヒヤリハットが発生した日、KYでの提案、現場巡視などで発見された際に作成しましょう。

## ヒヤリ・KYアセスメント 参考様式（記載例）

登録年月日 平成28年4月1日（月）

所属（課・係・班）名 薬剤課 役職氏名 販売員 ○▽美子

関係する作業内容  
紙おむつの収納作業

重大性、可能性はステップ2を参考に、総合点はステップ3を参考に決めます。採点はなるべくトップが決定するのが望ましいでしょう。

ヒヤリハット・KYの内容

重大性      可能性      総合点

紙おむつを棚の上段に入れようとした際に届かなかったため、椅子（キャスター）を引上げて上げようとし、椅子が動いてバランスを崩して転落した。

3                  3                  9

発見された事例は安全衛生委員会等の場に集約します。

対策会議（安全衛生委員会） 実施日 平成28年4月14日（月）

参加者（職氏名） 店長 ○×弘 産業医 △□花子 販売主任 ○□太郎 係長 ○▽一郎

ヒヤリハット・KYの内容の対策

重大性      可能性      総合点

棚の上段に荷物を入れる際には専用の踏み台を使用する。専用の踏み台は○○店舗の○○に置くこととし、棚の表面にその旨表示する。

3                  2                  6

見直し時期 平成28年5月14日（月）

重大性

レベル3 大規模な労働災害、顧客のクレーム、コンプライアンス  
レベル2 中規模な労働災害、物損  
レベル1 軽微な労働災害、作業所内の連絡トラブル、経費節減

可能性

レベル3 頻繁に起きる（実際に起きたもの）  
レベル2 起こりにくい（未然に防げたもの）  
レベル1 可能性だけ（対策済みのもの）

検討して対策後の評価を入れます。通常は重大性は変わりません。

残存するリスク（総合点1を除く）がある場合は、次回の見直し時期（安全衛生委員会等開催日）を入れましょう。

重大性・可能性のレベルの例示を入れましょう。決め方はステップ2を参照して下さい。

ヒヤリ・KYアセスメント 参考様式

登録年月日 平成 年 月 日 ( )

所属 (課・係・班) 名

役職氏名

関係する作業内容

ヒヤリハット・KYの内容

重大性

可能性

総合点

対策会議 ( 安全衛生委員会 )

実施日 平成 年 月 日 ( )

参加者 (職氏名)

ヒヤリハット・KYの内容の対策

重大性

可能性

総合点

見直し時期 平成 年 月 日 ( )

重大性

- レベル3
- レベル2
- レベル1

可能性

- レベル3
- レベル2
- レベル1

